

大豆栽培緊急情報（ハスモンヨトウ防除）

令和8年8月31日
JA 福岡大城

一部のほ場でハスモンヨトウの食害が多発してきています。
発生を抑制するため、下記の要領で防除をお願いいたします。

【幼虫が群棲した白変葉発生時】

防除体系	薬剤名	散布濃度	散布液量 /10a	使用回数	収穫前日数	備考
液剤 /乗用管理機	ノーモルト 乳剤	2,000 倍	100～ 300L	2回以内	14 日前まで	少 発生時
無人航空機		8～16 倍	0.8L			
液剤 /乗用管理機	プロフレア SC	2,000～ 4,000 倍	100～ 300L	3回以内	前日まで	多 発生時
無人航空機		16～32 倍	0.8～ 1.6L			



●一見、きれいな大豆でも、中の方の葉裏にはハスモンヨトウが群棲している場合があります。上の葉に隠れて見つけにくい
ため、ほ場内で株をかき分けて、確認をしてください!!

9月上中旬の基幹防除（ハスモンヨトウ・カメムシ類・紫斑病対策の3種混合）は、大豆開花後 20 日頃が防除の適期になります。本年もカメムシ類の発生量が多くなる見込みです。大豆への吸汁被害防止に効果的な『開花後 20 日と 40 日の2回防除』を意識して、青立ち株発生低減に努めてください。

☆農作業時の熱中症に注意しましょう!!

- 日中の気温の高い時間を避け、涼しい時間帯に作業
 - こまめな休息と水分補給
- 【農薬の安全使用上の注意】①散布前に必ず農薬ラベルの登録内容等を確認！
②散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！ ③散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！ ④防除履歴の正確な記帳！